

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【229】
2. 日時：令和2年6月19日 10時00分～15時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階B会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官※、津金主任安全審査官※、
羽場崎主任安全審査官※、宇田川安全審査官、服部安全審査専門職※
堀野技術参与、山浦技術参与※、

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 課長 他14名※

5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性及び強度に関する説明書について、令和2年5月21日、6月4日及び6月11日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【津波への配慮が必要な施設の強度計算の方針】

- 「表5. 2-4 評価部位及び評価内容」に示される貫通部止水処置の評価内容について、「4. 2 許容限界」に示される評価内容と整合させ説明すること。

【浸水防護施設の耐震性に関する説明書の補足説明資料】

- 「表2-3 各軸方向での固有周期」に示される水平1方向の固有周期について、「表2-4 各軸方向の最大応答共振点」に示される水平2方向の最大応答共振点からの算出方法を整理して説明すること。
- 「表3-3 評価用加速度と試験時の機能確認済加速度との比較」に示される水平の機能確認済加速度 $0.86 \times 9.8 \text{m/s}^2$ について、限界値ではない旨を整理して説明すること。
- 「表3-3 評価用加速度と試験時の機能確認済加速度との比較」に示される「機能維持評価用加速度」及び「機能確認済加速度」について、「図3-2 設計用床応答曲線と加振台床応答曲線との比較」の内容と整合させ整理して説明すること。

【原子炉建屋の地震応答計算書に関する補足説明資料】

- コンクリートの剛性について、その時点の温度では決定せず、それまでの温度履歴の最大値で決定することを整理して説明すること。
- 「表４－３ 「SA時環境考慮連成モデル」に用いた部材の諸元」に示される温度について、「表４－５ 「SA時環境考慮連成モデル」に示される温度と整合させ整理して説明すること。また、通常運転時の温度及び原子炉本体基礎の剛性低下率を追記し整理して説明すること。
- 重大事故時の温度条件及び水位条件を考慮した原子炉建屋モデルについて、解析諸元を整理して説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他
なし